

親水広場で植栽活動

北陸農政局柏崎周辺農業水利事業所 次長 石田弘

桜の花も満開になった平成26年4月15日(火)に、柏崎周辺農業水利事業で整備した右岸幹線用水路親水広場において、地元関係者の皆さんと柏崎土地改良区と合同で植栽を行いました。

右岸幹線用水路にある親水広場は、その設置に当たり、地元関係者や施設を管理している柏崎土地改良区等の関係者でワークショップを行い、平成18年度に整備されたものです。水に親しめるように5段の階段状の護岸を2カ所設置するとともに、管理用道路との間に緑地を設けています。

今回の植栽は、柏崎土地改良区から花の苗木が提供され、地元の平井集落の老人会と国営事業所が協力しました。

親水広場には、午前9時に地元から14名、柏崎土地改良区から4名、当

事業所から5名の計23名が集まりました。地元老人会の伊東会長さんから「今日は、皆様のご協力もあり、このように植栽をすることができます。」との挨拶の後、柏崎土地改良区の武田事務局長さんから「なるべく管理に手のかからないよう、アジサイとガザニアを選定しました。」と説明があり、事業所の石田次長から「今後もこの広場を親しんでいただきたい。」と挨拶がありました。

レキが混じった土もあり、移植用の穴堀に苦労をしたところもありましたが、用意されたアジサイ50株とガザニア280株は、参加者により手際よく植え付けられ、約1時間で無事に終わりました。暖かな日差しにも恵まれ、少し汗ばみながら作業を楽しみました。

植栽の合間には、「この集落には、子供が7～8名程と少なくなってしまうっており、外で遊ぶ機会が減っている。」「息子達は東京へ出て行き、孫が生まれた頃はよく帰



快晴のもとスタート



地元からも多くの参加をいただきました

ってきていたが、最近はそれも減ってきている。」等、農村の共通する課題をかいま見たところでした。

最後に、参加者一同で記念撮影を行いました。早く花の咲く素敵な公園になり、地域の皆さんに親しみをもってもらえる広場になることを期待しています。



より親しみをもってもらえるようお祈りします

(参考：平成18年に行われたワークショップ)

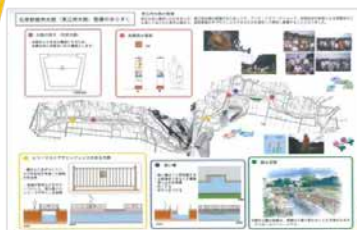
地域と連携した事業展開 住民参加の計画づくり

右岸幹線水路の改修整備に当たっては、ワークショップを開催して、地域住民からの意見を聞き取り、協働で安全面、管理面及び修景等について計画を作成しました。

ワークショップでは地域住民とともに現地調査を実施し、今後利用・維持管理していく地元住民の意見を集約・反映して、施工している。



ワークショップの様子



整備のあらまし

ワークショ
ップ
の反映



親水空間とデザインフェンス



洗い場の改修